

芳賀ひばりカップソフトテニス 研修大会



4月20日(土)・21日(日)与能テニスコートで、芳賀ひばりカップソフトテニス研修大会が開催されました。今回で10回目となるこの大会は、町ソフトテニスクラブや芳賀中ソフトテニス部後援会などが協力し、県内外の強豪中学校を招待して、選手の交流とテニスの技術向上を目的に行われています。大会の2日間は、冬に戻ったような寒さと雨が降るあいにくの天気でしたが、選手たちは保護者が用意した豚汁を食べて、元気いっぱいプレーをしていました。

芳賀町B&G海洋センターが 全国3位



町海洋センターの平成24年度入場者数は、103,228人で全国3位(温水プール部門)になり、表彰されました。全国にはB&G関係の温水プールが106か所あり、1位は兵庫県芦屋市の128,170人、2位は福井県坂井市の119,410人です。海洋センターの木村所長は、「もっと住民の皆さんに海洋センターを利用していただければ、サービスを向上させていただきます」と、全国1位を目指す決意を表していました。

町スポーツ教室が開講



5月に入り、今年度のスポーツ教室が開講しました。柔道教室では、少し大きめの柔道着を身にまとった小学生たちが、指導者から技を教してもらっていました。畳の上を走りまわるような元気な小学生もいました。剣道教室では、初めて剣道に挑戦する小学生が、まず足の運びを身につけるための指導を受け、一生懸命稽古に励んでいました。エアロビクス教室の参加者は、指導者の動きに合わせてリズムカルに動けるよう、真剣に取り組んでいました。

梨被害の支援要望のため 知事を訪問



5月23日(木)町長や大島隆農業委員長、JAはが野黒崎宣芳代表専務理事、同矢一司梨部会長らが、福田富一知事や三森文徳県議会議長を訪問し、4月中下旬に発生した降霜と低温による梨の被害に対する支援の要望書を手渡しました。この被害で、予想される被害額は5月9日時点で6億3500万円に上ります。

震災がれき大谷石の再利用



宇都宮大学工学部キャンパス内に、東日本大震災後旧芳賀高校に山積みされたがれき大谷石を利用した休憩所が完成しました。同大学院の安森亮雄准教授ががれき大谷石の再利用を思いつき、研究室の学生6人とともに手造りで設置しました。この休憩所は、学生同士の憩いと語らいの場となっているほか、分煙化を図ることでキャンパス内の環境改善に役立っています。

芳賀の恵み弁当試食会



5月1日(水)芳賀の恵み伊和伊(わいわい)弁当の試食会が、□マンの湯で行われました。このお弁当は、芳賀町在住で陶芸家の林香君大学教授がプロデュースして、宇都宮文星短期大学と弁当製造会社ベルモックが開発しました。試食会には、町長や副町長、教育長が出席し、食材や味付け、パッケージのデザインなど意見交換しました。なお、このお弁当は県が推奨する「とちぎ健康づくり応援弁当」に芳賀郡市で唯一認証され、5月18日から道の駅はが物産館で販売されています。

スポーツ結果



▲芳賀東バレーボールクラブ

平成25年度芳賀町スポーツ少年団バレーボール交流大会
 ◆期日/4月29日(月)
 ◆会場/第2体育館
 ◆結果/優 勝
 芳賀東バレーボールクラブ
 準優勝 芳賀北バレーボールクラブ

スマートライフプロジェクト 知っておきたい糖尿病

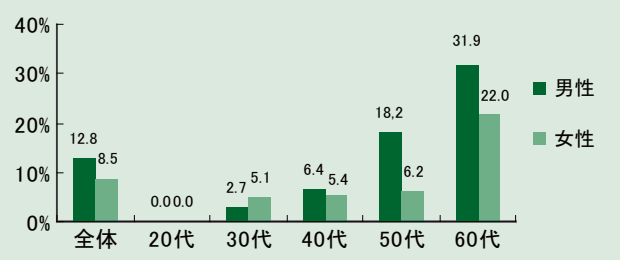
自覚症状がないまま、ひっそりと忍び寄るサイレントキラー糖尿病

糖尿病は、甘いものばかり食べている人になる病気だと思いがちです。しかし、食べる量が多すぎると、インスリン(血液中の糖の量を調節するホルモン)を分泌する膵臓が疲れてしまい、高血糖が続く病気なのです。

初期の段階では、自覚症状は感じられません。放置し進行してしまうと、治療にお金(※)がかかり、体のだるさや手足のしびれにとらわれた人生になりかねません。

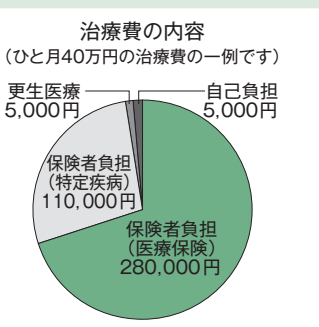
思い立ったが吉日。健診を受けて、あなたの血糖を知りましょう。

医師から糖尿病と言われたことのある人の割合
 (平成22年度町民の健康に関するアンケート調査より)



あなたにとって、「知る」ということが、よりよい人生を歩む一つの手段となります。

これから毎月「正しく知りたい糖尿病」についてお伝えしていきます。



(※) 高額の治療費は税金から支払われています
 血糖のコントロールがうまくいかず、腎不全をおこしてしまうと、透析治療が必要になります。
 透析治療を受けると毎月約30~50万円治療費がかかります。
 たとえば、ひと月40万円の治療費がかかったとして、医療保険や各種制度(特定疾病・更生医療)を適用させると、39万5千円が保険組合や国県町から支払われます。皆さんが支払っている保険税や各種税金が保険者負担として使われています。

Sレキューロク館イベントに はがまるくん登場



ゴールデンウィーク中の4月28日(日)、真岡鐵道Sレキューロク館のオープンングイベントに、町マスコットキャラクター「はがまるくん」が登場しました。この日は、晴天に恵まれ大勢の人が訪れました。はがまるくんは、ステージで新技「お座り」を披露したり、じゃんけん大会に参加したりしました。また、小さなお子さんから大人にまで人気があつて、終始お客さんに囲まれ、写真撮影に応じたり、観光パンフレットを配布するなど、芳賀町の魅力をPRしました。

芳賀北小が漆原先生と交流



5月10日(金)旧上稲毛田小出身で児童文学作家の漆原智良先生が、芳賀北小に来校し、5年生38人と交流しました。絵本作家の内田麟太郎先生や、日光市出身で児童文学作家の高橋秀雄先生と一緒に訪れた漆原先生は、愉快なエピソードとともに、「まじめな心」や「がまん的心」を忘れず、夢をあきらめないことの大切さをお話しされました。優しく語りかける先生たちのお話を、児童たちは熱心に聞いて、質問したりしていました。